

2641.13

極秘

A

自明治三十六年十二月二十八日
至明治三十七年六月十日

戰時日誌

聯合艦隊司令部

0004 0003



A

自明治三十六年十二月二十八日
至明治三十七年六月十日

戰
時
日
誌

聯
合
艦
隊
司
令
部

0004 0003

出雲 上村第二艦隊司令長官

速鳥 長井第四驅逐隊司令

千歳 出羽第一艦隊司令官

雷 石田第二驅逐隊司令

高千穂 瓜生第二艦隊司令官

薄雲 土屋第三驅逐隊司令

磐手 三須第二艦隊司令官

陽炎 眞野第五驅逐隊司令

初瀬 梨羽第一艦隊司令官

一聯合艦隊隊號區別旗(符)ヲ制定ス(聯隊法令第二號)

十二月二十九日(火)

一曩ニ定員ヲ減セラレタル諸望樓ニハ適任ナル下士卒ヲ以テ從前ノ通り充實セシメラル

一對馬國豆酸及平戸島白嶽ニ假設ノ無線電信完成ノ旨通知アリ

三十七年一月一日(金)

一瓜生第二艦隊司令官旗艦高千穂ニテ福州ヨリ販着

一月三日(日)

0006

一三須第二艦隊司令官着任將旗ヲ馨手ニ掲ケラル

一練習艦嚴島、松島、橋立ニ乗組中ノ少尉候補生ヲシテ第一期練習ヲ中止シ直ニ在役各艦ニ分乗セシメラル

一月五日（火）

一瓜生第二艦隊司令官將旗ヲ須磨ニ移サル

一月六日（水）

一第二艦隊第四艦隊訓練ノ爲メ出港惠美壽灣ニ假泊ス

一特設船舶及運送船トシテ春日丸外二十八隻ノ雇上ヲ實行シ其機裝ヲ命セラル

一月七日（木）

一三笠艦底塗換ノ爲メ佐世保工廠船渠ニ入渠ス

一第三艦隊所屬第一艇隊第十艇隊第十一艇隊第二十艇隊ヲ竹敷ヘ回航セシメラル

0007

一月九日(土)

一 第二戰隊第四戰隊訓練ヲ了リ販港

一 聯合艦隊戰策ヲ制定發布ス

一 各戰隊ニ晝夜分(十節)ノ和炭ヲ積載シ得ル餘積ヲ殘シ英炭ヲ滿載シ被服糧食需品ヲ充實セシム(聯機第二五號)

一 龍田吳軍港ヨリ八雲長崎ヨリ入港

一 沖繩丸入港船体ヲ黑塗シ富士丸ト假稱ス

一月十日(日)

一 其筋ノ電令ニ依リ麾下艦艇船体外部ヲ濃鼠色(黒一白三)ノ比量配合)ニ塗替ヘシム(聯機第二八號訓令)

一 電命ニ依リ宮地明石艦長ニ左ノ通り訓令ス(聯機第二九號)

其艦ハ明十一日沖繩丸ト共ニ出發入口浦附近ニ至リ同船ノ海底電線敷設事業ヲ護衛スヘ

0008

シ此任務中終始外國艦船ノ行動ニ注意シ沖繩丸ノ作業ヲ窺知セラレサル爲メ適當ノ偵察
及警戒ヲ行フヲ要ス

航路及通信規約等ニ就テハ沖繩丸乗組布目海軍少佐ト協議決定スヘシ
沖繩丸ノ作業結了スルトキハ同船ヲ護衛シテ佐世保ニ歸港スヘシ

- 一 龍田第一艦隊ニ編入通報艦ト定メラル宮古ハ第三艦隊ニ編入セシメラル
- 一 第十四艇隊ハ第一艦隊ニ第九艇隊ハ第二艦隊ニ編入セシメラル
- 一 三笠出渠

一月十一日(月)

- 一 明石沖繩丸聯機第二九號訓令ニ據リ出港
- 一 實吉軍醫總監醫務視察トシテ來港

一月十二日(火)

- 一 將官ニ對スル敬禮及軍艦相互ノ敬禮ニ關シ令達ス(聯隊法令第一一號)

一准士官以上食卓金六ヶ月分前渡ノ件認許セラレ

一豊橋福岡丸仁川丸ヲ第一特務隊ニ編入ス

一月十三日(水)

一第一期艦砲教練射撃ヲ止メ其規定彈數ヲ以テ特別ノ艦砲ヲ施行スヘキ旨聯合艦隊ニ訓令ス
(聯機第五一號)

一月十四日(木)

一通常軍服常用ノ件石炭搭載成績表提出ニ及ハサル件令達ス

一吾妻吳軍港ヨリ入港

一月十五日(金)

一第三戰隊射撃訓練ノ爲メ出港

一沖繩丸相ノ浦入口浦間ノ海底電線敷設ヲ了リ結果良好ノ旨電報アリ

0010

一第一戰隊艦砲射撃ニ關スル日令發布(第一戰隊日令第一號)

一月十六日(土)

一第三戰隊佐世保ニ歸港

一伊集院信管附着ノ件防寒用木炭搭載ノ件水雷母艦ニ治療品搭載ノ件驅逐隊艇隊ニ晝夜分ノ煉炭ヲ容ルヘキ餘積ヲ存シ英炭滿載ノ件聯合艦隊ニ訓令ス(聯機第六四號)

一第一戰隊諸訓練艦砲射撃ニ關シ日令發布(第一戰隊日令第二號)

一月十七日(日)

一明石任務ヲ了ヘ八口浦ヨリ高千穂ハ機械水雷落下裝置取付ヲ了リ吳軍港ヨリ入港

一瓜生第二艦隊司令官將旗ヲ浪速ニ移サル

一防寒用被服搭載方驅逐隊艇隊ニ訓令ス(聯機第六七號)

一月十八日(月)

0011

一第一戰隊日令第二號ニ依リ出港諸訓練施行ノ後黑島沖ニ假泊ス

一月十九日(火)

一第一戰隊艦砲射撃施行了テ佐世保ニ入港

一第二戰隊佐世保出港艦隊運動ヲ行ヒ了テ惠比須灣ニ假泊ス

一月二十日(水)

一第二戰隊艦砲射撃施行了テ惠比須灣ニ假泊ス

一各部隊ノ各艦艇ハ和炭(驅逐隊艇隊ハ煉炭)一晝夜分(十節)ヲ搭載シ得ル餘積ヲ存シテ適宜英炭ヲ滿載貯藏シ航海用需品ヲ充實シ水管及汽管ノ防寒被覆ヲ成ル可ク速ニ完成セシメ且ツ舵機ヲ検査シ十二時間以内ニ復舊ノ見込ナキ機關ノ手入ヲ施行セシムヘカラス又各艦艇ノ乗員ハ佐世保市以外ニ出ツヘカラサル旨聯合艦隊ニ訓令ス(聯機第七二號)

一時局ニ際シ韓國北清及露國沿岸地方ニ派遣ノ軍人軍屬ニハ左ノ順序ニ據リ防寒服ヲ交付セラル、旨達セラル(但シ現品ハ製作ニ從ヒ逐次交付ノコト)

0012

- (一) 驅逐隊水雷艇隊
- (二) 三等巡洋艦以下及特設部隊
- (三) 二等巡洋艦
- (四) 一等巡洋艦戰艦
- (五) 特設船泊

一月二十一日(木)

一 第二戰隊艦砲射撃ヲ了リ入港

一 第四戰隊出港艦砲射撃ヲ了リ即日第三區ニ入港

一 麾下艦艇ノ艦尾速力及舵柄信號燈構造規定中改正ノ件令達ス(聯隊法令第一八號)

一 艦隊霧中運動規定中追加令達ス(聯隊法令第一九號)

一月二十二日(金)

一 特ニ認許セラレタル彈丸ヲ以テ常裝藥射撃ヲ施行スヘキ旨驅逐隊艇隊司令ニ訓令ス(甲機
第二三號)

一月二十三日(土)

一 第一戰隊出港特別常裝藥射撃ヲ施行シ即日入港ス

一 敷島千鳥瀬ニ座礁約三時間ニシテ離礁ス

一 在芝罘森中佐ヨリ左ノ敵情電報到達ス

二十日現在露國軍艦所在ハ港外「ベトロバウロスク」「ゴルタワ」「バーヤン」「アスコ
ルド」「ノビツク」「バルラダ」港内東方「セバストポール」「ギリヤーク」「グレミヤシチー」
「エニセイ」全西方「レトウ井ザン」「ツエサレウ井ツチ」「ベレスウ井ツト」「ゴビエダ」「ヂ
アナ」「ポヤーリン」「アムール」「オトワズヌイ」大連灣「ラスボイニツク」「仁川港」「コレ
ツ」ニシテ「グレミヤシチー」ハ修理中

一 母艦春日丸、三池丸、神戸丸、山口丸、福岡丸、金州丸、仁川丸、武州丸、武陽丸、天津丸、報國
丸、臺中丸、臺南丸ヲ第一特務隊母艦ニ日光丸、江都丸、太郎丸、彦山丸、香港丸、日本丸ヲ第

二 特務隊ニ編入ス

一 艦隊運動程式中聯合艦隊限リ改正ノ件令達ス(聯隊法令第二二號)

0014

一月二十四日(日)

一井上侍從武官聖旨ヲ齎シテ來港ス

一此日降雪アリ黎明ニ達ス

一第一種煉炭ヲ滿載スヘキ旨豊橋艦長ニ訓令ス(聯機第八七號)

一敷島試運轉ノ爲メ出港即日坂港

一月二十五日(月)

一伊集院信管取扱注意ニ關スル艦政本部長ヨリノ電報ヲ麾下一般ニ告達ス

一月二十七日(水)

一敷島佐世保工廠船渠ニ入渠ス

一月二十八日(木)

一第一艦隊ニ編入セラレタル大島、赤城ヲ第一特務隊ニ編入シ第二艦隊ニ編入セラレタル新

六

0015

高ヲ第四戰隊ニ編入ス須磨第三艦隊ニ編入セラル

一第一艇隊ハ第一艦隊ニ第二十艇隊ハ第二艦隊ニ編入セラル

一月二十九日(金)

一第二十艇隊着港

一月三十日(土)

一敷島出渠

一月三十一日(日)

一赤城、大島第一艇隊着港

一水雷艇經費糧食及需品交付手續令達(聯隊法令第二六號)

一左ノ通り大本營へ電報ス

一令ノ下第一第二驅逐隊ヲシテ旅順港外敵艦隊ヲ急襲セシムル目的ヲ以テ豫メ該兩隊ト春

0016

日丸、龍田ヲ八口浦迄派遣シ置キタシ其時機ハ主力出發ヨリ少ナクモ二日前ナルヲ要スル
カ故ニ其御舍ニテ右ノ如ク取計ヒ差支ナキ旨主力發進ヲ命セラル、前豫報セラル、様希望
ス旅順港口閉塞ハ第一着ニハ施行セス又　ハ牙山附近ニ上陸セシムルカ最モ得策ト信
ス

二月一日(月)

一聯合艦隊下士卒半數上村中將引率ノ下ニ烏帽子嶽ニ運動會ヲ催ス

一新高横須賀ヨリ入港

一軍令部長來電(第一番第二番參謀長ノ外見ルヲ許サス)

(一)第一第二驅逐隊春日丸及龍田ヲ八口浦迄派遣シ置カル、コトハ差支ナキ考ニシテ其出發

機ヲ御希望通り通知スルコトモ出來得ル見込ナリ右ノ機通知ノ後其他ノ戰隊モ艦隊ノ行

動ヲ暗マス爲メ主力出發以前ニ演習等ノ名義ヲ以テ便宜伊萬里カ五島邊迄進メ置カレテ

ハ如何右海軍大臣ト協議濟

(二)第一第二驅逐隊ノ旅順港々外敵艦隊ヲ急襲スルハ發令後第何日ノ豫定ナルヤ又天候等ノ

爲メ其襲撃ヲ實行スルコト能ハストスレハ次ニ第一打撃ヲ敵ニ加フルハ何隊ニシテ且其
日取ハ第何日ニナルヘキヤ返電ヲ乞フ

一左ノ通り軍令部長ヘ答電ス

第二電信受領第一驅逐隊第二驅逐隊旅順口急襲撃ハ發令ヨリ第二日目ノ夜ヨリ翌朝黎明
迄ノ筈天候ノ爲メ此計畫通實行シ得サル時ハ其湘キ次第矢張第一驅逐隊第二驅逐隊ヲシ
實行セシムル考ナリ

二月二日(火)

一本日催サルヘキ聯合艦隊下士卒半數運動會ハ都合ニ據リ之ヲ取止メシム
一軍令部長來電(第三番參謀長ノ外見ルヲ許サス)

最初ノ打撃ヲ露國艦隊ニ加フルノ時機ハ外交上ノ最後ノ手續ヲ取ルニ至大ノ關係ヲ有ス返
電ニ據レハ天候ノ如何ニ據リ其時機確定セサルカ如シ第二日ノ夜驅逐隊ノ襲撃出來サル場
合ニハ翌朝戰隊ヲ以テ攻撃セラレサルヤ前段ノ主意ニ基キ成ル可ク確實ノ時機ヲ至急回報
アラシムコトヲ希望ス

0018

二月三日（水）

一 左ノ通り軍令部長へ電答ス

第三電報ノ返電我艦隊ヲ敵ノ強勢ナル海岸砲臺砲火ノ下ニ暴露セシムルコトハ本職ハ戰略上寧ろ最後ノ手段ト考へ居レリ故ニ其砲臺掩護ノ下ニアル艦隊ヲ攻撃スルニモ成ル可ク戰隊ヲ用ヒス驅逐隊ノ夜襲ニ依ラントス其時期ハ天候ノ爲メニ左右セラル、コトハ免カレサルモ先ツ第二日ノ夜ニ實行出來サレハ第三日ノ夜ニ出來ルモノト豫期シテ外交上ノ手續ヲ執ラレテハ如何

一 麾下驅逐隊若クハ艇隊ノ一隊ヲシテ毎夜佐世保港口ヲ巡邏警戒セシムル件無線電信ヲ常ニ受信ヲナシ得ルノ準備ニアラシムル件當直艦ハ終夜汽艇ヲ準備シ置クヘキ件聯合艦隊ニ訓令ス（聯機第三五號號）

一 在芝罘森中佐ヨリ左ノ電報到達ス

三日十時前「セバストポール」ヲ除キ戰鬪艦六巡洋艦六水雷敷設船二旅順口出發行衛知レス

二月四日(木)

一海軍大臣來電

旅順口ニ於ケル有力ナル軍艦ハ修理中ナル一艘ヲ除ク外總テ發航シ其行先ハ不明ナリト云フ嚴ニ警戒スヘシ佐世保竹敷要港ニハ水雷敷設ノ(一字不明)ヲ命シタリ山下大佐緊要命令ヲ持チ三日午後六時直航漁車ニテ其地ニ向ケ出發セシメタリ此電報ヲ第五番トス

一麾下艦船中圓罐ヲ備フルモノハ十節ニ對スル罐數ニ汽釀スヘキコト不時ノ出港ニ差支ナカラシムヘキコト公用ノ外下士卒ノ上陸ヲ許サ、ルコト艦尾燈制式等ニ付聯合艦隊ニ訓令ス(聯機第二六號號)

一當夜千早龍田ヲシテ志自岐大立島崎戸島ヲ連ヌル線上ヲ又第五驅逐隊ヲシテ片島黑島間ヲ巡邏警戒セシム(聯機第二七號號訓令)

一午後十一時四十五分上村第二艦隊司令長官以下各司令官艦長ヲ旗艦三笠ニ會シ戰機切迫ニ付益、警戒ヲ嚴ニスヘキ旨訓示シ其筋ヨリ電命ノ次第ヲ傳達ス大要左ノ如シ

- 一 露艦港口ニ接近、對敵動作ヲ爲サハ撃沈スヘキコト
- 二 韓國派遣隊大連丸平壤丸及小樽丸へ乗船ノ命アリタルコト

0020

二月五日(金)

一在芝罘森中佐來電

三日出港セシ露國艦隊ハ全夜大連灣假泊昨四日午後三時前後岬港全部港外泊

一山下大佐東京ヨリ着

一海軍大臣電令ニ依リ山下大佐ノ携帶シ來リシ緊要封書ヲ開キ左ノ書類ヲ受領ス

無號

一東洋ノ平和ヲ維持スルノ目的ヲ以テ帝國政府ハ明治三十六年七月露國政府ニ對シ韓國及滿洲ニ關スル協議ヲ開始シ爾來交渉ヲ重キタリ然ルニ露國ノ爲ス所ヲ觀ルニ益々滿洲ニ於ケル其軍備ヲ増大シ宛モ併呑的行動ヲ現實シ進ミテ韓國ノ境土ニ威壓ヲ加ヘ以テ帝國ノ利權ヲ危害セムトスルノ企圖掩フ可ラサルモノアリ顧ルニ帝國政府ハ開議以來終始平和的態度ヲ以テ彼レニ接シ其ノ協商ヲ遂ケムコトニ努メ忍耐以テ今日ニ至リシモ露國政府ハ曠日彌久徒ラニ覆牒ノ時期ヲ稽延シ其間已レテ利シ他ヲ陷レムトスルノ事實瞭乎トシテ夫レ斯ノ如シ乃チ帝國ハ其韓國ニ於ケル利益ノ自衛ト滿洲ニ於ケル既得權利ノ擁護

トヲ全フセムカ爲メ今ヤ斷然自由行動ヲ取ルノ止ヲ得サルニ至レリ

如上ノ理由ニ據リ別紙軍令(大海令第壹號)ヲ發セラル

明治三十七年二月

海軍大臣男爵 山本權兵衛花押

聯合艦隊司令長官東郷平八郎殿

一 大海令第壹號

露國ノ行動ハ我ニ敵意ヲ表スルモノト認メ帝國艦隊ヲシテ左ノ行動ヲ取ラシメラル

一 聯合艦隊司令長官并ニ第三艦隊司令長官ハ東洋ニ在ル露國艦隊ノ全滅ヲ圖ルヘシ

二 聯合艦隊司令長官ハ速ニ發進シ先ツ黃海方面ニ在ル露國艦隊ヲ擊破スヘシ

臨時韓國派遣隊ノ海上輸送中ノ行動ハ聯合艦隊司令長官之ヲ指示スヘシ

三 第三艦隊司令長官ハ速ニ鎮海灣ヲ占領シ先ツ朝鮮海峽ヲ警戒スヘシ

右傳達ス

明治三十七年二月

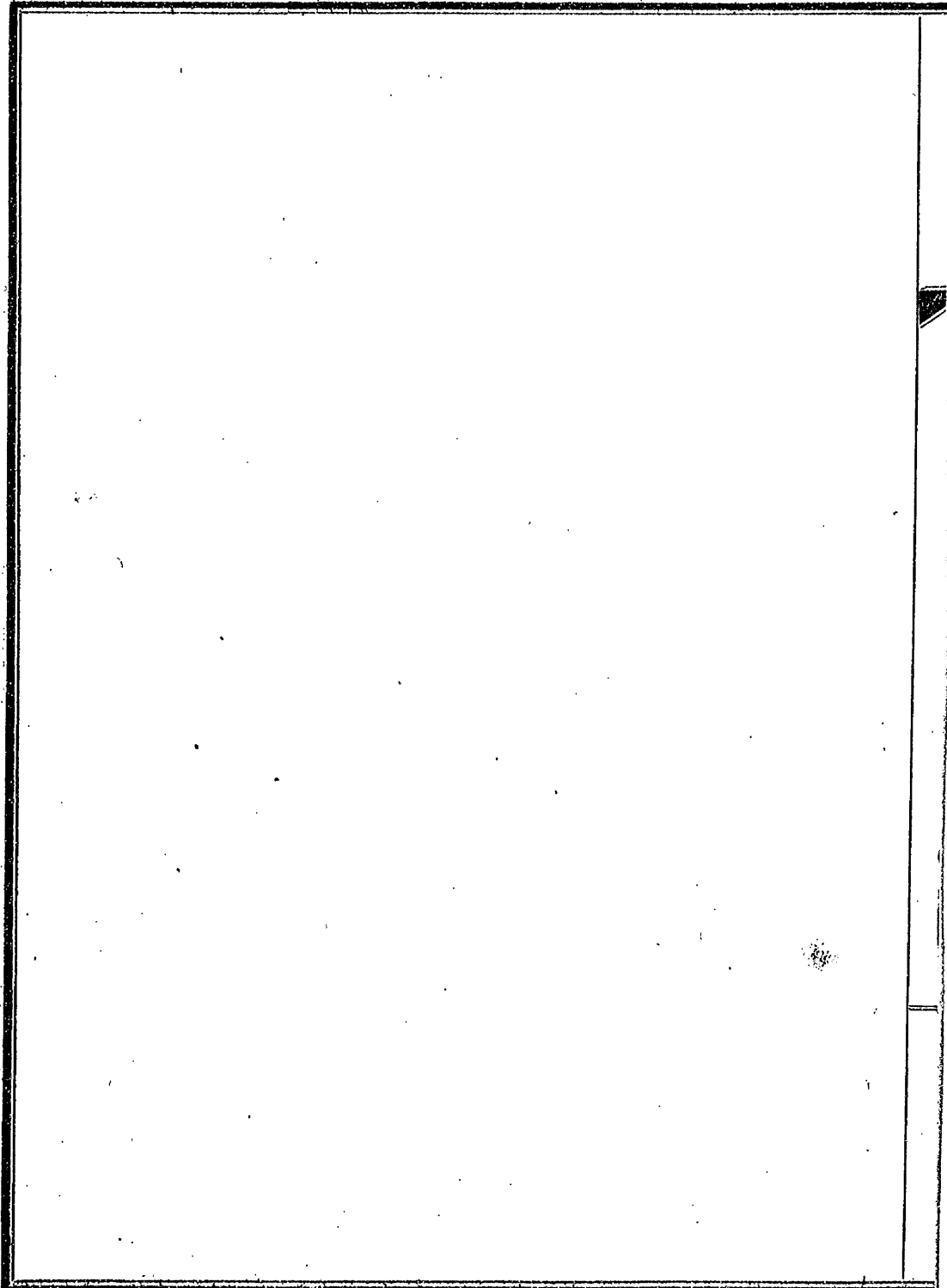
海軍大臣男爵 山本權兵衛

聯合艦隊司令長官東郷平八郎殿

0022

一午後十時三十分明石海底電線開通ノ爲メ八口浦ニ向ケ佐世保出港

要スルニ三十六年十二月二十八日聯合艦隊ノ編成アリテヨリ以來一月下旬迄麾下艦艇ノ行
動ハ専ラ訓練ヲ主トシ艦砲射撃特別艦砲射撃艦隊運動内筒砲射撃若クハ水雷發射等ノ爲メ
各艦交々港外ニ出動シ修理未濟ノ艦艇ハ各其工事ヲ急キテ共ニ佐世保軍港ニ集中シ臨戰準
備ノ完成ヲ努メタリ此間時局ノ進行ハ急ナルカ如ク又緩ナルカ如ク明日ヲ豫測シ能ハサル
ノ状態ニアリシト雖モ特設船舶ハ逐次佐世保軍港ニ集合シ來リテ港内殆ント餘積ナク二月
初旬ニ入りテハ事態益々切迫シ來リ日夜港外ニ哨艦艇ヲ配スルニ至リタルヲ以テ士氣益々
旺盛既ニ西海ヲ壓スルノ概アリ港内萬般ノ光景一目人ヲシテ機運ノ既ニ熟セルヲ思ハシメ
タリ果セルカナ二月五日ヲ以テ時局ハ遂ニ平和ノ解決ヲ見ル能ハス聯合艦隊ハ大海令第一
號ヲ以テ大命ヲ拜ス



0024

戰時日誌

三十七年二月六日(土)

於佐世保軍港旗艦三笠

天候 午前晴
午後晴

風 午前 中
午後 北 一―三

溫度 最高 五九度
最低 四一度

晴雨計 最高 三〇・二九
最低 三〇・二三

一 午前一時上村第二艦隊司令長官以下各司令官各艦長等ヲ旗艦三笠ニ會シ聯隊機密第一二〇號聯合艦隊命令ヲ發ス要領左ノ如シ

一 聯合艦隊ハ上命ニ基キ六日當港ヲ發シ可成行動ヲ隱蔽シテ急速黃海ニ進出シ旅順及仁川方面ノ敵ヲ擊破スルト同時ニ韓國京城占領ノ目的ヲ有スル陸軍兵ヲ仁川若クハ牙山附近ヨリ揚陸セシメントス

二 旅順方面ノ敵ニ對シテハ第一及第二戰隊(淺間ヲ欠ク)第三戰隊及各驅逐隊ヲ以テ之ヲ擔任シ仁川ノ敵ニ對シテハ第四戰隊(臨時淺間ヲ附屬ス)及第九第十四艇隊ヲ以テ之ニ當ラシメ且ツ陸軍運送船ノ護衛ニ任セシム

三 仁川方面ニ於ケル作戰ノ計畫實施ニ就テハ凡テ瓜生司令官ニ一任ス

一 午前四時三十分聯合艦隊ニ左ノ敕語(電報)ヲ賜ハル

朕ハ東洋ノ平和ヲ以テ朕カ衷心ノ欣幸トスル所ナルカ故ニ清韓ノ兩國ニ關スル時局ノ問題

ニ付朕カ政府ヲシテ昨年來露國ト交渉セシメタリ然ルニ露國政府ハ東洋ノ平和ヲ願念スルノ誠意ナキコトヲ確認セシムルノ止ヲ得サルニ達シタリ蓋シ清韓兩國領土ノ保全ハ我日本ノ獨立自衛ト密接ノ關係ヲ有ス爰ニ於テ朕ハ朕カ政府ニ命シテ露國ト交渉ヲ斷チ我獨立自衛ノ爲メニ自由ノ行動ヲ執ラシムルニ決定セリ朕ハ卿等ノ忠誠勇武ニ信賴シ其目的ヲ達シ以テ帝國ノ光榮ヲ全クセンコトヲ期ス

一右ノ敕語ニ對シ奉答スルコト左ノ如シ

優渥ナル御敕ヲ下シ賜リ臣等感激ニ堪ヘス臣ハ麾下ノ將卒ト共ニ本日佐世保軍港ヲ發シ

聖旨ヲ奉體シテ犬馬ノ勞ヲ盡シ以テ聖恩ノ萬分ノ一ニ報ヒ奉ランコトヲ期ス

出師ニ臨ミ誠恐誠惶謹テ奏ス

一午前九時第三戰隊各驅逐隊第九第十四艇隊春日丸、日光丸、金州丸出港第一集合地點ニ向フ

一午前十一時第二戰隊出港第五集合地點ニ向フ

一正午第一戰隊出港第五集合地點ニ向フ

一午後二時第四戰隊淺間陸軍運送船大連丸、小樽丸、平壤丸出港

0026

一右諸隊ハ豫定航路(聯合艦隊命令ニ據ル)ヲ進ミ日没前對敵準備ヲナシ夜四直哨兵ヲ配ス
一軍令部長ヘ左ノ通り電報ス

聯合艦隊ハ本日當港ヲ發ス千代田ハ八日午前八時外ベーカー島ノ南方ニ於テ瓜生司令官ノ
率ユル第四戰隊ニ合スル如ク仁川ヲ出發セシメラレタシ八日午前八時戰隊其他ハ小青島ノ
南方ニアリ

二月七日(日)

於朝鮮西岸旗艦三笠

天候 午前晴
午後曇

風 午前北四二―三
午後北々四三―四

溫度 最高 五六度
最低 四六度

晴雨計 最高 三〇・二九
最低 三〇・一八

一午前七時四十五分千歲ヨリ左ノ電報アリ

各隊總テ第一集合點ニ到着曙石炭積ノ爲メ日光丸ニ横付ノ際衝突シ損害大ナリトノ報ニ據
リ今取調中

一龍田九針岩附近ニテ露國商船「ロシヤ」號ヲ捕獲ス

一曙ノ損害大ナレトモ沈没ノ憂ナシ假修理ノ爲メ工作船ヲ要スル旨電報アリ

一午後一時二十分第二戰隊ト共ニシングル水道ニ漂泊ス明石海底電線接續ノ任務ヲ了ヘ來會

第三第四戰隊モ逐次來會シ漂泊ス

一明石ヨリ左ノ電報ヲ受領ス

(一) 軍令部長轉電在芝罘森中佐報告

六日旅順港外碇泊位置左ノ通り

列外東ヨリ西へ「アスユリツド」「ベレスウエート」「レトウ井ザン」「バルラダ」「ヂアナ」
「バヤーン」「アンガラ」「エニセイ」「列」「ツエサレウ井ツチ」「ポルタリ」「ペトロパウロ」
ウスク」「ボビエダ」「バヤリン」「アムール」列外「ノウ井ツク」「ギリヤーク」出港
以上ノ外港内ニ碇泊驅逐艦全數港内

(二) 軍令部長來電

今七日村上千代田艦長ノ報告ニ依レハ仁川在泊露國軍艦及諸外國軍艦ノ模樣異狀アル
ヲ認メス

一右敵情ニ據リ聯合艦隊命令(聯隊機密第一二三號)ヲ發ス要領左ノ如シ

一 敵情依然タリ聯合艦隊ハ豫定行道ヲ續行ス

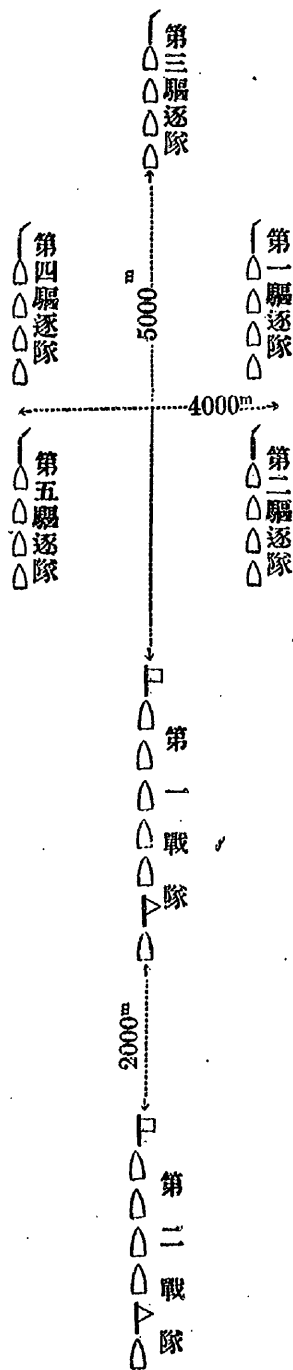
二 第三戰隊ハ單獨先發八日午前八時小青島ノ南西ノ西約三〇浬ノ地點ニ達シ四周ヲ偵察

シ敵ノ有無ヲ定メ本隊ニ歸リ報スヘシ

一吾妻露國商船「アルグン」ヲ拿捕ス千早ヲシテ之ヲ八ツ浦ニ護送セシム

一聯合艦隊ハ午後五時豫定ノ行動ヲ起シ當夜四直哨兵ヲ配ス

航行序列左ノ如シ



一瓜生支隊仁川ニ向フ

二月八日(月)

於黃海旗艦三笠

天候

午前 晴
午後 快晴 濃氣

風

午前 北々四 三一四
午後 北四一四 微北 三一二

溫度

最高 四六度
最低 三九度

晴雨計

最高 三〇・一七
最低 三〇・〇六

一午前八時第五集合點ニ達ス前夜來北西ノ和風アリ稍ヤ澎濤アリシテ以テ艦載ヲ卸シテ巡威

島錨地ニ留ムルコトヲ止メ速力ヲ十三節ニ増加シ前進ヲ續行ス

一午前十時三十八分千歳ヨリ電報アリ曰ク「敵無シ」ト次テ第三戰隊ニ會シ之ヲ第二戰隊ノ左前方ニ位置セシム

一左ノ通り無線電信訓令ヲ發ス

戰隊ハ今夜ノ豫定航路ヲ變シ午後六時迄前進シ六時ヨリ速力ヲ十漉ニナシ左十六點正面ヲ變シ午後十時北八十五度西ニ變針午前五時北十五度西ニ變針シ老鐵山ニ向フ針路ノ變換ニハ信號ヲ用ヒス其時刻ニ至ラハ先頭隊ヨリ逐次變針スルモノトス序列ハ第三戰隊ヲ先頭トシ第一第二戰隊之ニ次ク各隊ノ間隔ハ三千米突トス

一午後六時圓島ノ南東微東約三十漉ノ地點ニ達シ驅逐隊ニ左ノ信號ヲナシ進撃ヲ命ス豫定ノ如ク進撃セヨ一同ノ成效ヲ祈ル

驅逐隊ハ旅順及大連灣方面ニ突進ス仍テ登舷禮式ヲ以テ之ヲ送り各隊ハ逐次十六點ノ正面變換ヲ行ヒ豫定ノ針路ニ進ム時ニ日既ニ西方ニ春キ海霧之ヲ鎖シ四顧更ニ凄然タルヲ覺フ海上波平カニシテ毫モ行船ノ障害ヲナサス人皆テ天祐必ス驅逐隊ノ成效ヲ助クヘキヲ期ス一夜ニ入り二直哨兵ヲ以テ警戒ス時々意味不明ノ無線電信ヲ感ス

0030

二月九日(火)

於旅順口附近旗艦三笠

天候

午前 快晴
午後 快晴

風

午前 四微北→南東 一―三
午後 南々東 三―四

溫度

最高 四六度
最低 三六度

晴雨計

最高 三〇、一二
最低 三〇、〇二

一午前一時三十分頃旅順港方向(距離約六十浬)ニ當リ探海燈ノ反映ラシキ數回ノ閃光ヲ認ム
一午前五時十七分豫定地點ニ達シ北十五度西ニ變針老鐵山ニ向ヒ左ノ通り千歳ヘ電命ス

其隊ハ八時ヨリ旅順ニ向テ進ミ港外ノ敵情ヲ偵察セヨ若シ優勢ノ敵ニ逢ハ、本隊ニ誘致ス
ヘシ本隊ハ八時ヨリ遇岩ノ南方ニ向フ

一午前六時二十分千歳ヨリ電報アリ曰ク當隊ハ今ヨリ速力ヲ増シ十三浬トナスト其後意味不明ノ無線電信ヲ感スルコト甚タ多シ

一午前八時六分南隍城島ノ東方約九浬ニ達シ針路ヲ東微北ニ變シ遇岩ニ向フ是ヨリ先キ第二戰隊ヲシテ第一戰隊ノ後方一千米突ニ占位セシメ汽罐全數ノ使用ヲ命シ艦旗及龍田ノ外無線電信機ヲ水線下ニ收納セシメ戰鬪部署ニ就カシム

一午前九時四十五分北東微東ニ一汽船ヲ認メ之ニ向ヒテ變針ス全時北東微北ニ第三戰隊ヲ發見ス

千歳ヨリノ來電ニ曰ク

直ク來レ敵ノ大部分港外ニ在リ吾レ七千米突迄近ツケトモ彼砲火ヲ開カス敵ノ數艘ハ驅逐艦ニ懼リシモノ、如シ第一第二戰隊ハ速ニ來リテ敵ヲ砲撃スルヲ有利ト思フ敵ノ主力ハ港外ニアリテ二列

高砂他ノ汽船ヲ追ヒ之ヲ拿捕ス露國汽船「マンチュリヤ」ナリ龍田ノ護衛ニ委シ駆逐隊ス

英國商船福利號前橋ニ日本國旗ヲ掲ケ(Consular)ナル信號ヲ掲ケテ通過ス

一第三戰隊本隊ニ近ツキ信號シテ曰ク七千五百迄近ツキシモ彼ハ發砲セサリシ烟ヲ揚ケ居ルモノ五隻ニ過キス大ニ勢ヒナシ今ヨリ攻撃セハ大ニ有効ト思フト仍テ全隊ヲ第二戰隊ノ後方ニ占位セシメ十一時針路ヲ反轉シテ順列單縱陣トナリ(各隊ノ間隔六〇〇米突)北西微西ニ西ノ針路ニテ旅順港外ニ向フ戰鬪序列左ノ如シ

三朝富八敷 初
出吾八常 磐
千高笠吉

漸次速力ヲ増加シ戰鬪速力(十五浬)トナシ左ノ信號命令ヲ傳フ

今ヨリ敵ノ主力艦隊ヲ攻撃ス會合點クリツフオード列島

一午前十一時二十六分戰鬪旗ヲ大櫓頭ニ掲ケ左ノ信號ヲ爲ス

0032

勝敗ノ決此一戦ニアリ各員一層奮勵努力セヨ

一午前十一時五十五分針路ヲ西ニ變シ老鐵山ノ南方ニ向フ是ヨリ先キ敵ノ一艦我レニ向ヒテ出テ來リシカ暫クシテ發砲シツ、退却セリ距離遠クシテ彈丸我ニ達セス

一午後零時八分距離七五〇〇米突ニテ敵艦隊ニ向ヒ三笠先ツ前部十二尹砲ヲ發射シ敵直ニ應戰ス敵艦「ノビツク」「バヤーン」先ツ應戰シ踵テ陸上要塞敵戰艦ヨリモ發砲ヲ開始シタルモノ、如ク是ヨリ砲聲轟々彼我ノ砲撃次第ニ急劇トナル

當日觀測シ得タル諸種ノ狀況ヲ綜合セハ概テ左ノ如シ

此日旅順港外ニ於テハ海上靜穩ニシテ南ノ微風アリ敵艦皆南西方ニ艦首ヲ保テリ又二烟突ニシテ白塗セル商船一隻港内ニ遁避スルヲ見ル

開戦ノ初期ニ於ケル敵彈ハ多ク炸裂彈ヲ交ヘタルカ如ク海中ニ落下シ稍ヤ黃色ヲ呈シテ炸裂スルモノ數個ヲ實見セリ又薄霧中ヨリ透視スル所ニ據レハ黄金山砲臺ハ榴彈砲鷄冠山蠻子營等ノ砲臺ハ直射砲榴彈砲ノ混射ヲ以テ敵艦ト協力スルモノ、如ク我艦隊ヲ躡ヘテ落下スル彈着ヲ見タリ又戰鬪ノ初期ニ於テ我彈丸一個敵艦隊中央ノ一艦ノ煙突ニ命中炸裂セシモノ、如ク俄然非常ノ黑烟ヲ揚ケタリ

港外錨地ニアリシ敵艦ノ中「アスコルド」及「ノウ井ツク」ノ二隻ハ泊地ヲ離レ「アスコルド」ハ東方ニ「ノウ井ツク」ハ南方ニ航進シテ應戦ニ努メ又「バヤーン」モ運動シツ、應戦セシ模様ナリシ其他ノ諸艦ハ發砲セリト雖モ不動ノ儘ニテ泊地ヲ離レタル模様ナク三烟突若クハ二烟突ニテ僅カニ一烟突ヨリ煤烟ヲ揚ケ居ルモノアリ又戰艦ラシキ三煙突ノ一艦ハ東方ニ離レテ位置シ應戦ノ狀況ヲ認メサリシ

一 既ニシテ我艦隊ハ旅順港前ヲ一過シ老鐵山高角ニ近ツキタルヲ以テ午後零時二十三分正面ヲ變更シテ南東ニ南トナシ殿隊タル第三戰隊ニ敵ノ彈着距離外ニ占位スヘキヲ命ス
一 午後零時四十五分戰鬪旗ヲ下シ右先鋒鱗次縱陣ヲ制リ重ナル各艦ノ被害ヲ問フ回答左ノ如シ

一 三笠 後部海圖室 大櫓樓 「メインデリツクボルチエース」 船載水雷艇等ニ被彈

アリ負傷者六名

一 朝日 損傷ナシ

一 富士 砲術長及中尉一名戰死准士官一名下士卒九名負傷前部烟突ノ一部破損

一 八島 損傷ナシ

一 敷島 烟突艦橋ニ少シク損傷アリ負傷者ハ微傷共十三名

一 初瀬 司令長官室艦長室士官室上甲板四十七密砲一門砲損少尉候補生一名戦死

要スルニ損傷輕微ニシテ各艦戦闘航海ニ支障ナキヲ知レリ

一 午後二時十分速力ヲ十四浬トナシ第一第二戦隊ハ先ツ山東高角ニ向ヒ第三戦隊ハ隨意ノ針路ヲ執リ集合點ニ向ハシム

一 午後三時四十五分速力ヲ十三浬トナシ千歳ヘ左ノ通り電報ス

第一第二戦隊ハ四時一〇七三地點ニアリテ十三節ニテ南六十度東ニ行進ス今夜八時ヨリ十

二節ニ減シ針路ヲ南三十五度東ニ變シ正子ヨリ南七十五度東ニ變ス

一 四直哨兵ヲ配シ警戒シ豫定ノ通り行動ス午後九時五十分千歳ヘ左ノ通り電命ス

其隊ノ一艦ヲ今ヨリ八口浦ニ派遣シ臺南丸、臺中丸ノ外特務隊ノ艦船并ニ第一第二十艇隊

ト江都丸ハ曙修理了リ次第何レモ牙山ニ航スヘキ様電報セシムヘシ又艦隊用運送船ヲ牙山ニ送ル様佐世保鎮守府ヘ電報セシムヘシ

右ニ據リ第三戦隊ヨリ笠置ヲ八口浦ニ派遣セラル

二月十日(水)

於牙山錨地旗艦三笠

天候

午前 降雨
午後 降雨

風

午前 南々東 四―五
午後 南―西 五―七

溫度

最高 四八
最低 三三

晴雨計

最高 三〇・二三
最低 二九・八四

一 午前八時十分クリツフオールド島發見牙山灣ニ向ケ變針ス次テ第三戰隊ヲ認ム

一 午前十時二十六分浪速ヨリ仁川ノ敵艦ニ隻共總テ沈没大勝我軍一ノ損害ナシトノ報告ヲ得

タルヲ以テ直ニ瓜生司令官ニ祝電ヲ送レリ次テ千早ニ會シ報告ヲ得ルコト左ノ如シ

吾レ昨夜哨艦ヲ命セラル昨日午後零時四十分第四戰隊ハ「ワリヤグ」「コレーツ」ト約二十

分砲火ヲ交ヘタリ火災ヲ起シ仁川ニ遁入りタレトモ午後二時頃二艘共爆裂沈没セリ吾レ

ニ損害死傷等ナシ

一 第四驅逐隊ニ會ス左ノ報告アリ

大連灣ニ敵ナシ第五驅逐隊後ヨリ來ル曉ヨリ聞クニ第一驅逐隊ハ第一着ニ襲撃シ敵ノ警

戒モ充分ナラス格別ノ砲撃モ受ケス成効ヲ遂ケタル由他ノ隊ハ多少ノ苦戦セシナラント

ノコト漣ハ襲撃ノ後我隊ヲ見失ヒ單獨ルーバーニ來リシトノコト敵艦五六艘ハ沈メタリ

トノ談

一 午後二時二十分迄ニ各隊牙山灣ニ投錨ス在泊艦船左ノ如シ

0036

第四戰隊(淺間加フ)龍田千早千代田驅逐艦十三隻第九第十四艇隊日光丸春日丸金州丸大連丸小樽丸平壤丸立海丸

拿捕船「マンチュリヤ」

一瓜生第二艦隊司令官淺井第一驅逐隊司令報告ノ爲メ來艦上村第二艦隊司令官來會風力次

第二增加シ波浪高ク汽艇端舟ノ往復困難トナル

一第一艦隊參謀海軍大尉齋藤七五郎第一艦隊司令官長官幕僚トシテ乘艦

一千代田仁川ニ向ケ出港ス

二月十一日(木)

於牙山錨地旗艦三笠

天候 午前 快晴
午後 晴

風 午前 北西 六―七
午後 北西―南 一―五

溫度 最高 三六度
最低 二三度

晴雨計 最高 三〇、二六
最低 三〇、二六

一千早仁川ニ向ケ出港

一大本營へ戰況報告ヲナス要領左ノ如シ

第四第五驅逐隊ハ八日夜豫定ノ如ク大連灣ニ闖入セシモ敵ナシ依テ第四集合點ニ寄泊シ十日第三集合地點ニ入ル第一第二第三驅逐隊ハ午後十時半頃旅順港方面ニ探海燈ノ明滅スル

ヲ見十一時三十分敵ノ二哨艦(驅逐艦ト推定)東航シ來リ我西方約一千米突ニ近ツキタルモ針路ヲ反轉シテ西航セリ是ニ於テ第一驅逐隊ハ全速力突進敵ニ近ツキ東ヨリ西ニ第二驅逐隊ハ續キテ突進敵ノ砲火ヲ犯シテ西ヨリ東ニ第三驅逐隊ハ又東ヨリ西ニ横過シテ交々水雷攻撃ヲ果シタル後第四集合地點ヲ經テ十日第三集合地點ニ入ル此襲撃中一二僚艦ヲ見失ヒ或ハ速力不充分ノ爲メ孤立シタルモノアルモ皆無事第三集合地點ニ會合セリ

第一第二第三戰隊ハ概シテ豫定ノ如ク行動シ九日未明旅順沖ニ達シ第三戰隊ヲ先派シテ旅順港外ヲ偵察セシメタルニ敵ハ港外ニ現存シ敵ヲ動かス攻撃スレハ有利ト認ムトノ報告ニ接シタルヲ以テ斷然攻撃ニ決シ第一第二第三戰隊ノ順序ニ單縱陣ヲ制リ港口ニ向テ直進ス

港外約五浬ニアリシ敵ノ巡洋艦「バヤーン」若クハ「アスコルド」我艦隊ノ近接スルヲ發見シ直チニ艦尾ヲ示シテ港口ニ向ヒ遠距離ヨリ其艦尾砲火ヲ我先頭ニ加ヘシモ我之レニ應セス

港口ニ近ツキ約四點正面ヲ變シテ東ヨリ西ニ敵前ヲ通過ス敵ノ艦隊之ヲ見テ頗ル狼狽セルモノ、如ク動クアリ動カサルアリ進ムアリ退クアリ右スルアリ左スルアリ混乱シテ其艦型ヲ識別スル能ハス其多數ハ漸次港内ニ逃入セントスルカ如クナルヲ以テ午後零時五分我戰列ノ先頭三笠ハ已ムヲ得ス七千五百米突ノ遠距離ヨリ砲火ヲ開キタルヲ初彈トシ漸次敵ニ

0038

近ツキ我全線ノ砲火ヲ以テ群集混乱セル敵艦隊ヲ掩撃セリ敵ノ艦隊ハ要塞ト協力シテ盛ンニ防戦ス砲戦約四十分ニシテ我艦隊ハ戦列ノ正面ヲ左ニ轉シ一通過ノ後戦闘ヲ息ム此砲撃ノ結果ハ精確ニ認識スル能ハサレトモ敵ノ被害ハ決シテ少ナカラサル可ク就中「バヤーン」ノ如キハ十二尹砲弾命中炸發シテ濛々タル大黒煙ヲ發シ火災ニ罹レルモノ、如ク又其一煙突ヨリ多量ノ白煙ヲ吐キシハ蓋シ其汽罐ニ損所ヲ生シタルナランカ我艦隊特ニ第一戦隊ノ諸艦ニハ多少ノ損害アリタルモ何レモ輕小ニシテ直ニ修理ヲ了シ寸毫モ戦闘航海ニ差支ユル程度ノモノナシ艦隊ハ午後零時五十分戦闘旗ヲ下シ第三集合點ニ向ヒ旅順港外ヲ去レリ

一 紀元節ニ付午前十一時三十分滿艦飾正午皇禮砲遙拜式ヲ行ヒ了テ滿艦飾ヲ撤ス

一 玄海丸旅順港外海戦ノ死傷者ヲ載セ佐世保ニ向ケ出港第一艦隊參謀海軍大尉松村菊勇主理吉村幹三郎退艦全船ニテ佐世保病院ニ入院ス

一 獨國軍艦「テチス」仁川ニ入港新高ハ拿捕船「マンチユリヤ」ヲ護衛シ佐世保ニ向フ

一 第二次行動開始ノ爲メ聯合艦隊命令(聯機第一二四號)ヲ發ス要領左ノ如シ

一 聯合艦隊ハ旅順港外ニ殘留セル敵ヲ全滅シ且ツ旅順大連灣ヲ間接封鎖スルト同時ニ朝鮮西岸ニ於ケル我今後ノ作戰根據地ヲ確立セントス

二 第三戰隊及第四第五驅逐隊ハ本日午後便宜出發明朝白翎島附近ニ達シ略ホ前日ノ作戰方針ニ則リ圓島ニ向針シテ日没前圓島ノ前方約二十浬ニ達シ之レヨリ各部隊ハ左ノ如ク分離行動スヘシ

(イ) 第三戰隊ハ適宜ノ針路ヲ執リ翌十三日黎明山東高角ノ正東約十五浬ノ地點ニ達シ之レヨリ正南ニ向ヒ搜索列ヲ張り南方ニ徐進シ途上ニテ敵船及旅順大連ニ向フ中立國船舶ノ戰時禁制品ヲ搭載セルモノヲ拿捕シ八口浦ニ引致スヘシ

(ロ) 第四第五驅逐隊ハ旅順ニ直進シ充分敵情ヲ偵察シ敵ノ殘留艦坐洲艦等ヲ發見セハ更ニ襲撃轟沈シテ止メテ刺スヘシ

襲撃了ラハ巡威島ニ集合シタル後八口浦ニ來リ第一戰隊ニ合スヘシ

三 第二戰隊ハ今日便宜出發適宜ノ航路ヲ執リ明後十三日午前旅順口前ニ現出シ港外ヲ偵察シ翌十四日黎明南東高角ノ正東約二十浬ノ地點ニ達シ(以下第三戰隊ト全文)

四 第四戰隊(新高欠)第九第十四艇隊春日丸ハ牙山澳ニ入り碇泊シ適宜哨艦ヲ港外ニ配備シ漢江口ノ警戒ニ任シ又ユーゼニ島内ヲ測量シ航路浮標ヲ設置スヘシ

五 第一戰隊第一第二第三驅逐隊及日光丸ハ本日午後出發八口浦ニ回航炭水ヲ補充シ前進

根據地設營ノ準備ニ着手ス

一笠置八口浦ヨリ來リ第三戰隊ニ合ス燕推進器修理ノ爲メ佐世保ニ向フ

一午後五時第三戰隊第四第五驅逐隊出港

一午後五時三十分第一戰隊第一第二第三驅逐隊出港八口浦ニ向フ出港後千歲ヨリ左ノ情報ヲ得タリ

東京發電報 旅順ニテ水雷ノ命中セシ艦ハ「レトウ井ザン」「ツエサレウ井ツチ」「バルラダ」ノ三隻ナリト又駐韓露國公使明日京城ヲ引揚ケ佛艦「パスカル」ニテ芝罘ニ行ク管千代田ヨリ「ワリヤーク」ハ死人四十名負傷九十名ト報告アリ

二月十二日(金)

於朝鮮西岸旗艦三笠

天候 午前晴 午後晴

風 午前 南西四―北四 四―五
午後 北 四―北 五―六

溫度 最高 四七度
最低 三四度

晴雨計 最高 三〇・二八
最低 三〇・〇九

一前夜來ノ偏南風次第ニ右轉シ北西ニ變シ其力五ニ及ヒ波浪稍ヤ高ク且濛氣アリ展望ヲ妨ク
午前十一時梅加島ヲ發見シ之レヨリ開距離トナシテ都草水道ヨリ八口浦ニ入り玉島西方錨地ニ投錨ス風力依然タリ當夜四直哨兵ヲ配シ警戒ス

一 第三戰隊荒串地附近ニ風波ヲ避ケ居ル旨報告ヲ齎シ笠置入口浦ニ來會ス

一 聯合艦隊司令長官ニ優渥ナル敕語ヲ賜フ

一 敵ノ損害其他ニ關シ左ノ電報ヲ受領ス

一 十日巴里發本野公使ヨリ外務大臣ヘノ電報ニ據レハアレキシーフハ左ノ通り露國皇帝
ヘ報告セリト

損傷ヲ受ケタル三艦ハ猶(不明)ツ、アリ「ツエサレウ井ツチ」ハ舵部ヲ破損サレ「レト
ウ井ザン」ハ水線下ニアル「ハンドポンプ」ノ邊ヲ破ラレ「バルラダ」ハ艦ノ中央機關ノ
近邊ヲ傷メラル死傷少ク下士及水兵中死者二名溺者二十九名負傷者八名
攻撃ノ後發見シタル所ニ依レハ敵ノ水雷中破裂セサリシモノ二個アリシ

尙ホアレキシーフ其後ノ公報ニ曰ク

日本艦隊ハ約一時間旅順口ヲ砲撃シタル後砲撃ヲ止メ南方ニ向ヘリ露國側ノ死傷ハ海
軍士官四十三水兵五十一員傷水兵九名(不明)陸上要塞ニテハ死者一名負傷者三名

海戰中「ポルタワ」「ヂアナ」「レトウ井ザン」及「ノウ井ツク」ハ水線ニ破損ヲ受ケタリ要
塞内ニ於ケル損害ハ少ナシト

二 露國裝甲巡洋艦四隻運送船一隻十一日午前十時三十分ヨリ午後一時十分迄艦作崎望樓前ニ顯ハル

三 十一日艦作崎沖ニ徘徊セル敵艦隊ハ全日午後一時我商船奈古浦丸ヲ擊沈シ其後行ク所ヲ知ラス

一二月十一日戰時大本營ヲ宮中ニ置カレタル旨仰出サル

二月十三日(土)

於八口浦旗艦三笠

天候 午前 快晴
午後 快晴

風 午前 北東 一―三
午後 南東 一―三

溫度 最高 四二度
最低 二六度

晴雨計 最高 三〇、三三
最低 三〇、一七

一 軍令部次長來電

現今第三艦隊ノ主力ハ竹敷要港ヲ本據トス

一 第一艦隊訓令(甲機第四二號)ヲ發ス要領左ノ如シ

一 機關手入及受命後三時ニ運轉シ得ヘキ程度ニテ修理ノ件

二 載炭順序

三 碇泊中和炭常用

0043

一軍令部長來電

シングル水道ヲ通過スル陸軍運送船高砂丸及小蒸氣船一隻ヲシングル島附近ニ出ス筈ニ付
輸送ノ保安ニ必要ナル情報ヲ之ニ與フルコトヲ力ムヘシ高砂丸ハ水難救助ノ裝置ヲ有シ本
日宇品ヲ出發ス

二月十四日(日)

於八口浦旗艦三笠

天候 午前 晴雨
午後 曇

風 午前 南 四二―五
午後 北々 四三―六

溫度 最高 四四度
最低 三七度

晴雨計 最高 三〇・三五
最低 三〇・〇五

一 聯合艦隊命令(聯機第一三二號)ヲ發ス要領左ノ如シ但シ瓜生司令官ヘハ電報セリ

一 十二師團ハ仁川ニ向ケ輸送ヲ開始セリ聯合艦隊ハ航路ノ保安ヲ圖ルト共ニ敵情偵察ヲ
續行ス

二 淺間ハ便宜出發巡威島附近ニ直航シ目下巡威島ニアル第三戰隊(笠置欠)ニ合シ出羽司
令官ノ指揮ヲ受クヘシ

三 笠置ハ於青島ノ西方約二十浬龍田ハナンサン島ノ西方約十五浬ニアリテ陸軍運送船ニ
航路危險ノ有無ヲ報スヘシ

0044

四 第一戰隊第二戰隊(淺間欠)第一第二第三驅逐隊第一第二十艇隊ハ八口浦ニ於テ第四戰隊第四驅逐隊第九第十四艇隊ハ牙山澳ニ於テ急速炭水ヲ充實シ次回行動ノ準備ヲナス
ヘシ

一 第二戰隊入港ス

一 八口浦ヲ第一集合地點ト改稱ス當港碇泊中四直哨兵ヲ配シ防禦網ヲ張ルヘキ旨訓令ス(聯機一三〇號)

一 第一集合地點各水道ニ名稱ヲ付シ呼稱ニ便ニス(告示第四號)

一 大本營ヘ左ノ通り電報ス

十一日夜ヨリ天候甚タ悪ク之カ爲メ第三戰隊ノ千歲吉野及高砂ト第五驅逐隊ハ今尙ホ巡威島ニアルモノ、如ク第四驅逐隊ハ牙山ニ引返シタルマ、今尙ホ同地ニ留マリ第二戰隊モ此天候ノ爲メニ石炭ノ消費非常ニ多ク旅順迄進ムコトヲ中止スルノ已ヲ得サルニ至リ山東高角附近ヨリ以南ノ豫定行動ノミヲ遂行シテ本日當地ニ來レリ此ノ如キ次第ニテ旅順方面ノ情況ハ終ニ得ル所ナシ就テハ差當リ左ノ如ク行動スルコトニ決定セリ(以下聯合艦隊命令ノ要領)

二月十五日(月)

於八口浦旗艦三笠

天候

午前晴
午後晴

風

午前北二―三
午後北二

溫度

最高四六度
最低三六度

晴雨計

最高三〇・四〇
最低三〇・三一

一笠置龍田淺間逐次出港ス淺間ニ托シ出羽第一艦隊司令官ニ與ヘタル訓令ノ要領次ノ如シ

貴官ハ豫定行動ヲ中止シ更ニ其麾下(笠置欠)淺間及第五驅逐隊ヲ率ヒ天候復良次第旅順方面ニ進ミ大連灣及旅順ノ敵情ヲ偵察シ八口浦ニ歸來スヘシ

第四驅逐隊ハ旅順襲撃ヲ止メ瓜生第二艦隊司令官ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

一軍令部長來電

一 對馬ハ第二艦隊ニ編入セラレ準備整ヒ次第速カニ八口浦ニ至リ司令長官ノ命ヲ受ク可キ旨直接全艦長ニ命令ヲ發セリ

二 假根據地防備隊ハ十四日ヨリ鎮海灣ニ向ケ逐次出發ヲ始メタリ

一 沖繩丸ニテ芝罘旅順間ノ海底電線ヲ引揚ルニ艦隊ニテ掩護出來ルヤ又特別運送船使用ノ見込アルヤ大本營海軍幕僚ヨリ打合セアリタルニ付前件ハ危險ナリ後者ハ使用ノ見込アリト返電ス

リト返電ス

0046

一 本日ヨリ第一地點諸水道ニ艦載水雷艇ノ哨艇ヲ配備ス

二月十六日(火)

於八口浦旗艦三笠

天候

午前曇
午後晴

風

午前北北東
午後中

溫度

最高 五〇度
最低 三六度

晴雨計

最高 三〇・三〇
最低 三〇・一七

一 日光丸曙ヲ護衛シ佐世保ニ向ケ出港ス

一 第三戰隊(笠置欠)淺間第四第五驅逐隊入港

一 特別運送船仁川丸武陽丸武州丸天津丸報國丸入港

一 新高及臺南丸入港

一 瓜生第二艦隊司令官ニ訓令(聯機第一三三八號)要領左ノ如シ

一 第一第二第三驅逐隊ヲ更ニ貴官ノ指揮下ニ屬シ第四第五驅逐隊ノ附屬ヲ取消ス

二 港外警戒ヲ嚴ニシ於青島附近ニアル笠置ト無線電信ノ連絡ヲ保ツヘシ

三 ユーゼニー島ヨリ内方ヲ將來ノ艦隊泊地トナス爲メ防材敷設ヲナスヘシ

一 新高及第一第二第三驅逐隊牙山澳ニ向ケ出港

一 春日及日進横須賀へ安着ノ報アリ

0047

一軍令部長へ左ノ通り電報ス

十一日午後ヨリ開始シタル聯合艦隊第二次ノ行動ハ險悪ナル天候ニ妨ケラレ完全ニ遂行スル能ハス第三戰隊及第五驅逐隊ハ巡威島ニ風波ヲ避ケ天候ノ直ルヲ待チシモ十二日十三日十四日引續キ天候ノ悪シキ爲メ行動ヲ中止シ遂ニ十五日巡威島ヲ發シテ本日本隊ニ合セリ然ルニ第四驅逐隊ハ十一日夜風波ノ爲メ第三戰隊ト分離シ牙山ニ引返シ十三日朝ニ至リ天候較、復良スルニ乘シテ多分第五驅逐隊モ巡威島ヨリ出發セルナラント推察シ單獨牙山ヲ發シ大風雪ヲ犯シテ旅順ニ向ヒ途上各艦見失ヒテ相分離セシモ司令艇速鳥及朝霧ノミ旅順港外ニ達シ朝霧ハ十四日午前三時港口ヲ偵察シ盛シニ陸岸砲臺及哨艇ノ砲火ヲ蒙リシニ拘ラス黑煙ヲ揚ケ居ル一艦ニ對シ甲種水雷ヲ發シ且敵ノ哨艇ヲ砲撃シテ無事還リ來レリ又速鳥ハ全日午前五時旅順港外ニ達シ港口ニ近接シ敵ノ二艦ヲ暗中ニ發見スルト全時ニ其砲火ヲ受ケタルモ直ニ其一艦ニ對シ水雷ヲ發射シ其爆發ヲ確認シテ無事當地ニ返レリ又速鳥及朝霧ノ勇敢ナル襲撃ノ結果ハ暗夜ノ爲メ之ヲ知ルニ由ナシト雖モ少ナクモ敵ヲシテ益、戰慄セシムルノ大効アリシハ疑ナシト認ム又朝霧及速鳥ノ偵察報告ニ據レハ旅順港外ニハ少ナクトモ三隻ノ驅逐艦巡邏シ居リ他ニ二三艦ハ港外ニ碇泊シテ警戒セルモノ、如シ又大連

0048

灣旅順口老鐵山ノ燈臺ハ既ニ之ヲ滅セルカ如シ

二月十七日(水)

於八口浦旗艦三笠

天候

午前曇
午後曇

風

午前北四三
午後北々四三

溫度

最高四一度
最低三五度

晴雨計

最高三〇
最低三〇〇五

一 龍田及笠置ニ無線電信ヲ以テ歸港ヲ命シ即日入港ス

一 上海在泊露艦處分ノ爲メ和泉秋津洲須磨ヲ派遣シタル旨第三艦隊司令長官ヨリ報告アリ

一 高砂千早ヲシテ笠置龍田ノ任務ヲ繼承スヘキ旨當該指揮官ニ訓令ス

一 旅順方面敵情

(在芝罘森中佐發電) 十三日旅順ヲ拔錨セシ米國商船々々長ノ見ル所ニ據レハ港内ニ碇泊セルモノ大小十五隻港外艦艇見當ラス昨日彼地出發ノ際港外ニハ諾威商船二隻碇泊セシトノコト燈臺ノ下ニ艦首ヲ乗上ケ港口ノ半部ヲ閉塞セルモノハ「レトウ井ザン」東方ニアルモノハ「ベトロバウロウスク」ノウ井ツク「バルラダ」ノ三隻他艦艇ハ九日以來十三日迄ニ殘ラズ西方ニ退匿到底再出戰ノ模様ナシ恐怖ノ餘リニヤ毎夜砲臺ヨリ數回發砲スト又夜間艦船ハ勿論陸上ニテモ港外ニ面スル燈火ハ一切點セス海上怪シキモノ見當レハ砲臺ヨリ探照燈

ヲ點スト云フ

(龍動公使館附武官來電) 亞總督ヨリ露國皇帝ヘノ電報ニ曰ク「エニセイ」ハ去ル十一日旅順口ニ於テ自己ノ水雷ニ觸レ破損沈没スト

二月十八日(木)

於八口浦旗艦三笠

天候 午前晴 午後快晴

風 午前北 午後北々東 一三

溫度 最高四五度 最低三三度

晴雨計 最高三〇三八 最低三〇二九

一 高砂千早出港(笠置龍田任務繼承ノ爲メ)

一 第三次行動ニ關スル聯合艦隊命令(聯機第一五一號)ヲ發ス要領左ノ如シ

一 聯合艦隊ハ敵ノ損傷ノ復舊セサルニ先チ旅順港口ヲ閉塞シテ敵ノ全力ヲ不能ナラシメ且時宜ニ據リ間接射撃ヲ以テ敵ヲ威嚇セントス

二 特別運送船隊ハ當地ニ於テ閉塞準備ヲ完成シ第四集合地點ニ於テ乘員ヲ減少シテ金州丸ニ移スヘシ

三 特別運送船ノ衛艇ハ運送船ニ危害ヲ加ヘントスル敵ノ艦艇ヲ擊破シ且特別運送船ノ乘員ヲ收容救助スルヲ目的トス

四 各隊ノ行動

- (一) 第五驅逐隊ハ前衛トナリ敵ノ衛艇ヲ發見セハ之ヲ擊破ス
 - (二) 第九艇ハ老鐵山方面ヨリ近ツキ收容ニ洩レタルモノヲ救助ス
 - (三) 第一驅逐隊ハ老鐵山方ヲ警戒シ黎明圓島ニ來リ第一戰隊ニ合ス
 - (四) 第一戰隊第三戰隊ハ第四日旅順港外ニ達シ港口ヲ偵察シ閉塞ノ結果ヲ見定ム
 - (五) 第二戰隊ハ老鐵山ノ南方十湮ヨリ必要アルトキノ外敵ニ艦影ヲ示サス遇岩ニ來リ第一戰隊ニ會ス
 - (六) 間接射撃ヲ行フコトアラハ鮮生角方面ヨリ第一第二戰隊ヲ以テ之ヲ行フ
- 一 旅順港口閉塞ノ目的ヲ以テ志願者ヨリ決死隊ヲ撰擇ス

二月十九日(金)

於八口浦旗艦三笠

天候 午前曇 午後曇

風 午前東一 午後中

溫度 最高四五度 最低三五度

晴雨計 最高三〇・二四 最低三〇・一〇

一 高砂及千早ニ歸港スヘキ旨電訓シ即日歸港

一 軍令部長來電

- 一 明石ハ第三艦隊ニ編入セラレタリ仍テ全艦ハ竹敷ニ回航セシムヘシ
- 二 旅順芝罘線ハ双岩附近ニ於テ十六日我手ニテ切斷セラレタリ
- 一 第二艦隊參謀海軍大尉飯田久恒ニ第一艦隊參謀ヲ命シ三笠ニ乗艦セシム
- 一 旅順港口閉塞決死隊特別運送船ニ乗組ム
- 一 在米國竹下海軍中佐來電ニ曰ク

十四日朝速鳥朝霧ノ爲メニ擊沈セラレタルハ「ボヤリン」ナラント

二月二十日(土)

於八口浦旗艦三笠

天候 午前 曇 午後 曇 風 午前 東 午後 北東 一―三 溫度 最高 四九度 最低 四四度 晴雨計 最高 三〇〇四 最低 二九八五

一 聯合艦隊ハ聯隊機密第一五一號命令ニ從ヒ第三次行動ヲ開始ス

一 第五驅逐隊第三戰隊(高砂欠)特別運送船天津丸報國丸武州丸仁川丸武陽丸午前八時三十分ヨリ逐次出港各艦登舷禮式ヲ以テ豫メ其成效ヲ祝ス

二 正午第一戰隊午後一時第二戰隊第四驅逐隊出港豫定航路ヲ進ム

三 本日微雨降り時々霧ヲ交ヘ展望自在ナラスト雖モ幸コシテ未タ航行ニ障害ヲ與フルニ

至ラス

一 臺南丸及臺中丸艦長ニ左ノ通り訓令ス(聯機第一六一號)

一 臺南丸艦長ハ首席將校トシテ殘留艦艇ヲ指揮シ入口浦ノ警戒ニ任シ且ツ敷設隊ノ防備事業ヲ完成スルニ努ムヘシ

二 臺中丸艦長ハ港務部長ノ職務ヲ行ヒ運送船ノ運輸及通信ニ關スル一切ノ事業ヲ擔任スヘシ

一 旅順在留本邦人某來艦語ル所左ノ如シ(告示第九號ニ詳記ス)

一 二月十四日「ベトロパウロスク」「バルラダ」「ノウ井ツク」外一艦ハ東港内ニ繫留シアリ其内「バルラダ」ハ水線下石炭庫ニ二十八呎四方ノ大孔ヲ生シ「ノウ井ツク」ノ損害ハ外部ヨリ見ルモ頗ル多大ナリ又「ベトロパウロスク」ハ「ホーズホール」ノ處大破損セリ

二 「レトウ井ザン」ニハ水雷ニ發命中シ居リ排水ノ効ナク十四日午後迄ハ燈臺ノ内方老虎尾ノ海岸ニ膠着シ居タリ

三 「ベレスウエート」「セバストポール」「ヂヤナ」ノ外諸艦ハ何レモ九日ノ砲撃ニ傷キ十日

十一日ノ兩日自己ノ汽力ニテ港内ニ入りタルハ右三艦ノミ他ハ皆曳船シテ引入レタリ
 ト「ヂヤナ」ハ外部ヨリ見タル處損害ナキカ如ク「バヤーン」ハ上甲板後部ニ大破損ヲ呈
 シ「アスコルド」ハ後橋折レ其煙突ノ一本大破セルヲ目撃シタリ(以下略ス)

二月二十一日(日)

於韓國西岸旗艦三笠

天候

午前 曇
 午後 快晴

風 午前 北々四 三―五
 午後 北 四 四―五

溫度 最高 四八度
 最低 三〇度

晴雨計 最高 三〇.一
 最低 二九.八六

一 午前一時頃ヨリ北々西ノ風次第ニ強吹シ四ヨリ五ニ達シ波浪大ナラスト雖モ特別運送船ノ
 北進ニハ多大ノ困難アルヘキヲ想ヒタリ午前九時過千歳ヨリ運送船皆ナ無事ナリトノ電報
 ヲ受領ス

一 第一戰隊ハ午後二時三十分第四集合地點ニ投錨ス第三戰隊特別運送船春日丸金州丸驅逐隊
 艇隊等既ニ錨地ニアリ第二戰隊ハ後ヨリ入港ス

一 牙山澳在泊浪速ヨリ牙山本邦間電信開通ストノ無線電信アリ仍テ浪速ヲ介シ左ノ通り大本
 營ヘ報告ス

風波ノ爲メ總艦艇悉ク第四集合點ニ集マリ天候ノ恢復ヲ待ツ牙山下第四集合點間無線電信

0054

通ス

一 聯合艦隊へ左ノ信號命令ヲ傳へ行動ヲ延期ス

天候ノ如何ニ係ラス本夜行動取止メ

二月二十二日(月)

於第四集合地點旗艦三笠

天候

午前晴
午後晴

風

午前中
午後中

溫度

最高 四三度
最低 二九度

晴雨計

最高 三〇・一九
最低 三〇・二二

一天候次第ニ復良シ僅カニ澎濤ヲ残スノミ午前特別運送船ノ固有乗員ヲ卸シ閉塞準備ヲ完成ス

一 延引列島附近ニ二條ノ黑煙ヲ認メ龍田ヲシテ偵察セシメ陸軍運送船ヲリシヲ知ル陸軍ニテ

ハ本日ヨリ海州邑ニ碇泊場司令部ヲ設ク

一 聯合艦隊午後四時ヨリ行動ヲ再始ス

一 第三戰隊第五驅逐隊特別運送船午後四時ヨリ六時迄ニ逐次出港第一第二戰隊ハ午後七

時出港豫定ノ航路ヲ進ム

一 其他ノ驅逐隊ハ明朝出港黄海ニ於テ相會セシメ又春日丸ニハ二十四日午前八時迄ニ圓

島附近ニ至リ本隊ノ來會ヲ待ツヘキ旨訓令ス

一午後八時三十分新高及浪速ヲ介シ聯合艦隊行動再始ヲ大本營ニ電報ス無線電信通信上著シキ發達ヲ認ム

一本夜四直哨兵ヲ配シ警戒ス午後十一時四十五分月沒ス

二月二十三日(火)

於黃海旗艦三笠

天候 午前晴
午後快晴

風 午前南—北西二
午後北西—北東一

溫度 最高 四六度
最低 三八度

晴雨計 最高 三〇三四
最低 三〇一六

一特別運送船ニ追及スルノ目的ヲ以テ速力ヲ次第ニ増加ス驅逐隊ハ午前九時頃我右舷後方ヨ

リ追尾シ來リ仍テ第一驅逐隊ヲシテ左ノ通り運送船隊ニ傳ヘシム

特別運送船隊ハ豫定位置ヨリ二十哩程往過キタリ速力ヲ緩メ

一正午右舷艦首ニ第三戰隊及特別運送船隊ヲ發見ス各隊ニ令シ速力ヲ六哩ニ減セシム此日天候佳良ニシテ海上殊ニ靜穩ナリシヲ以テ運送船ハ豫定以上ノ速力ヲ出タシタリト云フ

一午後三時速力ヲ八哩ニ増加シ無線電信ノ使用ヲ禁ス

一午後五時豫定地點ニ達シ第一驅逐隊ヲ先頭トシ特別運送船衛艇驅逐隊艇隊ハ旅順港ニ向テ

0056

直進シ爾餘ノ諸隊豫定航路ニ從ヒ針路ヲ反轉ス艦隊ハ登舷禮式ヲ以テ此行ヲ送ル

一第一戰隊半ハ針路ヲ變シタルトキ富士ヨリ信號アリ曰ク

北西ノ方ニ四本烟突ノ船一艘見ユト

依テ我驅逐艦ヲ見誤リシニアラスヤト反問シタレトモ驅逐艦ニアラストノ回答ヲ得タルヲ以テ戰隊ハ一時北西方ニ針路ヲ變シ運送船ヲ掩護シ龍田ヲ前進セシメタリ然レトモ遂ニ四本烟突艦ヲ見ル能ハス暮色蒼然タルヲ以テ好シ敵艦タリトモ既ニ驅逐艦ノ好餌タルニ過キスト思ヒ豫定航路ニ定針シ四直哨兵ヲ配シ龍田ヲ殿後ニ占位セシム當夜天候佳良無風ニシテ月明カナリシ

二月二十四日(水)

於黃海旗艦三笠

天候 午前晴 午後快晴

風 午前北 午後東北 一

溫度 最高四〇度 最低三二度

晴雨計 最高三〇.五二 最低三〇.三五

一午前零時五十五分月没ス

一第一第三戰隊ハ黎明圓島附近ニ達シ第三戰隊ヲ先キニシテ正西ニ進ム午前八時三十分第一驅逐隊來リ左ノ報告ヲナス

月没後探海燈ヲ照シ始ム港外何モナシ四時五十分火箭一本六時八分又火箭一本ノ外一艘
火災他ハ不明探海燈至急點シ砲擊盛ンナリ一艘途中ニテ停止シ蒸汽ヲ吹キ居ルヤニ見受
ケタリ多分砲擊セラレシナラン

一九時鴿來會報告ノ要領左ノ如シ

二艘ハ稍ヤ港口ニ近ヨリシモ閉鎖出來スト思フ吾レ端船ヲ搜セトモ見當ラス

一第一戰隊ハ遇岩附近ニ漂泊シ第三戰隊ヲシテ港口ヲ偵察セシム

一第五驅逐隊報告

昨夜月入り後探海燈三個ヲ照シ灣口ヲ警戒セリ本隊ハ侵入敵ノ一艦ヲ認メ襲撃セリ運送
船ハ成効セシモノ、如シ

一俾報國丸乗員ヲ收容シ來リ左ノ報告ヲナス

運送船二隻確カニ成効セリ

一千鳥報告

天津丸武州丸乗組皆無事其他ハ今朝七時迄搜索シタレトモ見當ラス三艘ハ港内ニ突入シ
二隻ハ老鐵山ノ東側ニ乗上ク

0058

一有馬參謀以下ヲ鵜ヨリ收容シ第九第十四艇隊ヲ春日丸ト共ニ第四集合地點ニ皈ラシム
一午前十時五十分千歳來電

報國丸外一艘港口ヲ閉塞シ二艘ハ老鐵山ノ下ニ沈没一艘ハ見ヘス「バヤーン」ハ港外ニア
リ「ノヴ井ツク」ハ驅逐艦五隻ヲ率ヒ老鐵山ノ方面ヨリ入港ス之ニ向ヒ砲戰セリ

一午前十一時第二戰隊來會ス速鳥ヨリ左ノ報告アリ

特別運送船二艘ハ老鐵山ノ東方ニ一艘ハ饅頭山ノ下一艘ハ旅順口入口燈臺ノ側ニアリテ
火災ヲ起シ居レリ其他ノ一艘ハ詳カナラス閉塞隊ノ乘リアル「ボート」ハ見當ラス只明キ
「ボート」一艘流レ居ルヲ見タリ港口ニ進ム敵ノ驅逐艦一隻アリシモ出テ來ラス本隊カ
旅順口ニ近寄リシトキ彼ノ砲臺ヨリ盛シニ砲擊セラレタリ

一正午第一第二戰隊ハ針路ヲ南東ニ定メ行進ヲ起シ驅逐隊ニ再襲撃ヲ命シ又第三戰隊ニ左ノ
通り電訓ス

今夜第四驅逐隊ハ旅順港外ヲ第一驅逐隊ハ鳩灣ヲ第五驅逐隊ハ大連灣ヲ搜索襲撃セシム
其隊ハ午後四時迄驅逐隊ヲ掩護シ海洋島ノ方ニ退キ明日圓島ニ來ルヘシ本隊ハ明日攻撃
ニ決ス

一第一第二戰隊へ左ノ通り電訓ス

今夜十時左十六點ノ正面變換ヲ爲ス豫定此時ハ信號ヲ爲サス

一龍田千早へ左ノ通り電訓ス

日没ヨリ第二戰隊ノ後方一海里ニアリテ警戒シ十時針路ヲ轉シタル後ハ第一戰隊ノ前方

二海里ニアリテ警戒航行セヨ

一本夜四直哨兵ヲ配シテ警戒シ明朝四時ヨリ二直哨兵トナシ七時ヨリ總汽罐ヲ使用スヘキヲ
令ス

一千歲報告

敵砲臺發射セス敵艦ハ乱射セリ(「ボビエダ」港口ヲ警戒ス)「レトウ井ザン」ハ港口ニアリ
外大艦四隻ハ西港ニ碇泊セリ

特別運送船ノ二隻ハ成効シ其一ハ「レトウ井ザン」ノ附近他ノ一ハ水道ノ中央ナリ「バヤ
ーン」ハ入港出來スト思フ今夜驅逐隊ノ成効ヲ期ス特別運送船三艘分ハ收容シタルモ二
艘分ハ見當ラス多分陸岸ニ上リ名譽ノ捕虜トナリタルモノナラン

一第一第二戰隊ハ午後山東高角ノ北方ニ達シ豫定ノ通り針路ヲ反轉ス

0060

二月二十五日(木)

於黃海旗艦三笠

天候 午前 快晴
午後 晴

風 午前 北東 二
午後 東 二・三

溫度 最高 三九度
最低 三四度

晴雨計 最高 三〇・四六
最低 三〇・三三

一 午前一時五十六分月没ス

一 午前六時三十分圓島ノ南西約十三哩ニ達シ第一驅逐隊ニ會ス次テ第三戰隊ヲ認ム

一 戰隊ハ午前七時三十分ヨリ速力ヲ十二哩ニ増シ豫定ノ通り旅順攻撃ニ向ヒ龍田ヲシテ老鐵

山南方ヨリ芝罘方面ヲ早テシテ老鐵山南方ヨリ廟列島方面ヲ巡航シ閉塞隊ヲ搜索セシム

一 戰隊旅順ニ近ツクニ及ヒ港外ニ「ノウ井ツク」「バイヤーン」「アスコールド」三隻ノ巡航スルヲ認

ム然レトモ鮮生角南方約十哩ニ浮流機械水雷アリ航行危険ナルヲ以テ一先ツ老鐵山南方ニ

航過シ更ニ針路ヲ轉シ午前十一時四十三分敵艦ヲ砲撃ス

是ヨリ先キ第三戰隊ヲシテ老鐵山方面ヨリ敵ヲ監視セシメ第一第二戰隊ハ三千米突テ距テ

テ單縱陣ヲ制リ主砲ヲ以テ港内ニ間接射撃ヲ行ヒ補助砲ヲ以テ主トシテ敵艦ヲ砲撃セリ

敵艦ヨリノ彈丸ハ殆ント我ニ達セス「アスコールド」「ノウ井ツク」ニハ多少被彈アリシモノ

ノ如シ

一 正午頃ヨリ「アスコールド」「バイヤーン」「ノウ井ツク」相踵テ港内ニ遁入シ港外敵ヲキニ至リ

0061

タルヲ以テ零時五十五分針路ヲ南東微東ニ定メ圓島ノ南方ニ退却ス我軍一ノ損傷死傷ナシ

一午後一時四十分第二艦隊司令長官ニ八口浦ニ直航シ炭水ヲ補充シ後命ヲ待ツヘシト訓令シ第一戰隊及驅逐隊ハ第四集合地點ニ向フ本夜四直哨兵ヲ配シ警戒ス

一千歳ヨリ無線電信報告アリ曰ク

第三戰隊ハ老鐵山下ニテ旅順口ニ向フ二隻ノ驅逐艦ヲ認メ一隻ハ旅順口ニ遁ケ込ミタレトモ一隻ハ鳩灣ノ方ニ追究シ之ヲ砲撃破壊セリ

一午後三時十分小青島附近ニアル哨艦新高ヲ介シ在牙山浪速ヘ左ノ通り電報ス

第三戰隊富士八島第五驅逐隊ハ海洋島ニ向ヒ第二戰隊ハ第一集合點ニ向フ第四驅逐隊及艇隊ハ其地ニ行キ貴官ノ指揮下ニ入ラシム

一午後六時出雲ヘ左ノ通り電報ス

本隊ハ一先ツ第四集合點ニ行キ二十八日迄ニ八口浦ニ着ノ豫定特別運送船ノ中報國丸ハ燈臺ノ下ニ北向ニ坐礁シ武州丸ト思フモノ其南東約二鏈半ノ處ニ沈没シ天津丸ハ老鐵山ノ東岸ニ坐礁武陽丸ハ其外方ニ沈没他一隻詳カナラス天津武陽報國ノ人員ハ總テ收容セ

0062

ラレシモ他二隻ノ乗員ハ行衛不明本日龍田千早廟列島芝罘方面へ搜索ニ行ケリ昨夜驅逐
隊襲撃ノ結果詳カナラス鳩灣ニハ敵艦ナシ

右牙山ニアル浪速ヲ經テ大本營ニ報告スル積リナレトモ猶ホ入口浦ヨリモ電報アリタシ
又昨日ヨリ今朝へ掛ケテノ行動モ適宜貴司令長官ヨリ報告シ置カレタシ

二月二十六日(金)

於第四集合地點旗艦三笠

天候

午前曇
午後晴

風

午前南東北々東二
午後南々四々南々東一

溫度

最高 四二度
最低 三六度

晴雨計

最高 三〇.三〇
最低 三〇.一九

一天明後第三戰隊及龍田ニ會ス第一驅逐隊ヲ先航セシメ戰隊ハ午前十一時五分第四集合地點

ニ投錨ス

一速鳥ヨリ左ノ報告アリ

二十四日夜當隊旅順口襲撃ハ三個ノ探海燈ニ照ラサレ盛ンニ砲撃ヲ受ケ水雷五個發射セ
リ其成效詳カナラス艦及人員ハ異狀ナシ白晝港外ニ出テ居リタル敵艦ハ夕刻港内ニ入り
タルモノ、如シ

一牙山在泊浪速へ左ノ通り電報ス

各隊無事第四集合地點ニ歸レリ港口閉塞ハ半ハ其目的ヲ達セリ第三戰隊ハ鳩灣ニテ敵ノ驅逐艦一隻ヲ破壊セリ委細後ヨリ通報ス

一出羽第一艦隊司令官ヘ訓令(聯機第一六六號)要領左ノ如シ

一 海洋島ニハ敵ノ通信所海底電線驅逐艇隊ノ炭庫アルモノ、如シ貴官ハ其麾下ノ二隻

ト富士八島及第五驅逐隊ヲ率ヒ同島ニ至リ敵情ヲ偵察スヘシ

一 明日午後四時迄ニハ海洋島ヲ去リ八口浦ニ來ルヘシ餘時アラハ裏長山列島附近迄偵察スヘシ

第三戰隊(笠置吉野欠)富士八島ハ右訓令ニ依リ午後四時四十分出港ス

一 第一戰隊笠置吉野午後六時出港八口浦ニ向フ

一 大本營ヘ左ノ通り電報ス(龍田ヲシテ發送セシム)

聯合艦隊ハ去二十日ヨリ豫定ノ行動ヲ開始途上天候不良ノ爲メ第四集合地點ニ於テ行動ヲ開始シ途上天候不良ノ爲メ第四集合地點ニ於テ行動ヲ一日順延シタル後二十二日ヨリ旅順方面ニ進發シ第五驅逐隊ハ二十四日午前二時頃旅順港外ヲ搜索シテ「アムール」ノ如キ敵ノ一艦ヲ襲撃セシモ其結果ハ明カナラス又全日午前三時三十分我忠勇ナル旅順口閉塞隊ハ敵

0064

ノ強力ナル四個所ノ探海燈ト猛烈ナル砲火ヲ冒シ旅順港口ニ猛進セシカ天津丸ハ敵ノ探海燈ノ爲メ少シク針路ヲ誤リ老鐵山ノ東海岸ニ坐礁シ武陽丸ハ其外方約四百米突ニ沈没シ報國丸ハ進ンテ港口燈臺ノ下ニ達シ船首ヲ約北々西ニシテ坐礁シ一隻(武州丸ナランカ)ハ其南東ノ東ニ鏈半ニ沈没シタリ又他ノ一隻(仁川丸ナランカ)ハ饅頭山下ノ海岸ニ坐礁セルモノ、如シ又勇敢ナル第九第十四艇隊ハ翌朝黎明ニ至ルマテ港外ニ止マリ敵ノ砲火ヲ冒シテ閉塞隊ノ收容ニ從事シ天津丸武陽丸報國丸ノ勇士ハ悉ク收容シ得タルモ仁川丸武州丸ノモノハ遂ニ發見セス尙ホ第四驅逐隊モ翌朝砲火ヲ冒シテ附近海岸ヲ搜索シタルモ遂ニ此二隻ノ乗員ヲ收容スルコト能ハサリシ

旅順口閉塞隊及艇隊ノ此勇敢ナル行爲ハ能ク帝國軍人ノ忠勇義烈ヲ表明セルモノニシテ港口閉塞ノ目的ハ不幸ニシテ完全ニ達スル能ハサリシト雖モ其無形ノ効力莫大ナルモノアリト信ス收容サレタル三隻ノ閉塞隊員中報國丸ノ下士以下三名敵彈ノ爲メニ輕傷セシモ其他ハ無事ナリ又各水雷艇隊及驅逐隊ニモ一ノ損傷ナシ唯遺憾ナルハ仁川丸武州丸ノ勇士ヲ收容スル能ハサリシ一事ニシテ尙ホ昨二十五日千早龍田ヲシテ廟列島ヨリ芝罘附近ニ至ルマテ搜索セシメタルモ遂ニ之ヲ發見スル能ハスシテ本日本隊ニ合セリ

第一第二第三戰隊ハ二十四日午前十時旅順口沖ニ達シ第三戰隊ハ直チニ港外ヲ偵察セリ
會、敵艦「ノウ井ツク」及驅逐艦五隻老鐵山ノ方ヨリ港内ニ入ラントスルヲ發見シ之ヲ砲撃
セリ第一第二戰隊ハ閉塞隊ノ收容及驅逐隊ニ其夜ノ命令ヲ與フル等ノ爲メ時ヲ移セシ爲メ
其日砲撃ヲ止メ旅順口港外ヲ去レリ其夜第一驅逐隊ハ鳩灣ヲ第五驅逐隊ハ大連灣ヲ搜索シ
タルモ敵ヲ發見スル能ハサリシ又第四驅逐隊ハ旅順港外ニテ敵ノ砲火ノ下ニ一回ノ襲撃ヲ
試ミタルモ其奏効確實ナラス

二十五日午前九時第一第二第三戰隊ハ再ヒ旅順港ニ現出シタルニ敵艦「バーヤン」「アスコ
リツド」「ノウ井ツク」ノ三艦港外ニ在ルヲ見直チニ近ツキテ之レヲ砲撃セントスル際前方
ニ一個ノ機械水雷アルヲ發見セシヲ以テ之レヲ避ケ一旦針路ヲ轉シ更ラニ東方ヨリ港口ニ
近ツキ午前十一時ヨリ港内ノ間接射撃ヲ兼テ遠距離ヨリ敵ノ三艦ヲ砲撃セリ敵ハ要塞ト
協力シテ約二十分間應戰セシカ須臾ニシテ悉ク港内ニ入レリ仍テ戰隊ハ砲撃ヲ止メ港外ヲ
去レリ此砲戰ハ射撃稍ヤ遠カリシヲ以テ敵艦ニ對スル其効果ハ大ナラサリシモノト認ム我
諸艦ニモ一ノ損害死傷ナシ

敵ノ運動ニ就テ察スルニ彼レハ專ラ我レヲ要塞十字砲火ト水雷敷設面内ニ誘致セントスル

0066

モノ、如シ第三戰隊ハ港口ノ南方ニ於テ敵ヲ監視シタルニ老鐵山ノ南方ヨリ敵ノ驅逐艦二隻ノ港口ニ入ラントスルヲ發見シ直ニ之ヲ砲撃セシカ其一隻ハ旅順港内ニ逃入リシモ他ノ一隻ヲ鳩灣迄追撃シテ遂ニ之ヲ撃破セリ此驅逐艦ハ四個煙突ノモノニシテ鳩灣ノ北方ニ擱岸シテ我砲火ノ爲メニ破壊サレ且ツ火災ニ罹レリ第三戰隊ノ諸艦ニモ別ニ損傷ナシ

右ニテ一先ツ第三次ノ行動ヲ了リ第一第三戰隊第一第四第五驅逐隊及第九第十四艇隊ハ第四集合點ニ第二戰隊ハ第一集合點ニ引揚ケシメタリ

二月二十七日(土)

於八口浦旗艦三笠

天候 午前 晴 午後 快晴

風 午前 南東 二―三 午後 南東 二

溫度 最高 五五度 最低 四三度

晴雨計 最高 三〇・一九 最低 三〇・〇四

一第一戰隊笠置吉野八口浦着在港艦船左ノ如シ

第二戰隊香港丸日本丸臺中丸臺南丸其他特務船八隻

一警手常磐香港丸特別任務ヲ以テ芝罘方面ニ向テ出港ス

二月二十八日(日)

於八口浦旗艦三笠

三十二

0067

天候 午前 晴
午後 曇

風 午前 南四 三―四
午後 北 三―四

溫度 最高 五二度
最低 三七度

晴雨計 最高 三〇・一八
最低 二九・九五

一聯合艦隊前進根據地ヲ牙山ニ進ムルヲ止メ更ニ海州邑ニ變更スルコトニ決シタルヲ以テ牙山灣口ノ防材敷設ヲ中止スヘキ旨在牙山瓜生第二艦隊司令官ニ訓令ス(電訓)
一大本營ヘ電報

於青島ヨリ北方ニ延長スル海底電線ハ小乳巖角ニ揚陸スルヲ止メ海州錨地葛川角ニ揚陸スル様御變更相成度艦隊ハ根據地ヲ海州錨地ニ前進セシムル豫定ナリ
港口閉塞用トシテ更ニ特別運送船四隻ヲ至急準備サレタシ此運送船ハ成ル可ク十節以上ノ速力ヲ有シ其排水量ハ二千噸内外ノモノニテ船艙ニハ石及「セメント」ヲ混載シ約一ケ年間引揚ノ見込ナキヲ可トス目下佐世保ニ抑留セル捕獲船ヲ其儘使用スルヲ得ハ好都合ナリ之カ爆裂ニ要スル十六斤綿火藥罐三十二個小裝鎧電纜千五百米突十電器電池八個試驗用電池四個ヲモ附屬サレタシ

二月二十九日(月)

於入口浦旗艦三笠

天候 午前 晴
午後 快晴

風 午前 北 三
午後 北 二

溫度 最高 四六度
最低 三四度

晴雨計 最高 三〇・三二
最低 三〇・一六

0068